

令和5年度第2回熊本県独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構運営協議会
熊本職業能力開発促進センター荒尾訓練センター部会開催概要

1 開催日時 令和6年2月20日（火） 10:00～12:00

2 開催場所 熊本支部熊本職業能力開発促進センター
荒尾訓練センター会議室

3 主な議題

- (1) 令和5年度事業実績について
- (2) 令和6年度事業計画について

4 議事経過

資料に沿って事務局から説明が行われた後、質疑応答が行われた。主な意見は以下のとおり。

- ・昨年度、急激に低下した離職者訓練の定員充足率について、ハローワークとの連携強化など様々な取組による成果が見受けられるが、まだまだ取り組む余地がある。4年ぶりに開催された「ものづくり体験教室」は、地域に存在感を示す取組である。
- ・ハローワーク玉名管轄における求職者の動向は、今までコロナの影響で動けなかった方々がより良い条件を求めて動き始めている傾向が見受けられる。また、求職者の高齢化と若年者のハローワーク離れが顕著化している。
- ・訓練受講の経緯について更なる分析が必要である。
- ・パンフレットに掲載された「訓練受講中の女性訓練受講者のインタビュー」は、女性の応募者増加に期待が持てる。働きたい女性を活発に呼び込み、女性のものづくり分野での活躍に繋げていただきたい。「働きたい女性と女性訓練受講者による座談会」も良いのではないか。
- ・機械CAD加工科の定員充足に向けて、企業の人材ニーズを踏まえた訓練内容の改善と科名の見直しも検討が必要である。
- ・在職者訓練については、技能講習などの資格取得には対応できないとのことだが、可能な範囲内で企業ニーズを汲み取りながら対応していただきたい。

- ・ T S M C 関係で、荒尾市でも半導体関連の企業誘致が進んでおり、雇用の創出がみこめることから、人手不足解消のためにそれらの企業とも今後、繋がりをもっていただきたい。